

新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり（鏡川流域パートナーシップ）の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

土佐山学舎4年生が鏡川で水生生物を調査・観察！

7月11日（金）、土佐山学舎4年生の環境学習会に、本課職員が講師として参加しました。4年生は、5月30日に、鏡川流域関係人口創出事業や高知市の自然環境について学び、今回の環境学習会では、実際に鏡川源流憩いの広場を訪れ、水生生物の調査や観察、環境保全について学習しました。



5月に鏡川に関する環境学習会を行いました。質問に対して、積極的に意見を発表してくれました！



今回は、鏡川で水生生物調査を行いました。約30分の調査で様々な生きものが見つかりました！



当日は天気が心配されましたが、実施時には日差しも見え、絶好の調査日和となりました！
児童の皆さんは、きれいな鏡川でたくさんの水生生物を見つけました^^

水生生物の調査は、ライフジャケットを着用し、2人1組になって行いました。各自協力しながら、生きものを見つけたり、捕まえたり、とても有意義な時間となりました！



鏡川に生息しているアユを、地元の方が捕まえてくれました！



鏡川の水はとてもきれいであると、改めて感じました！

児童の皆さんは、サワガニ、カエル、ヘビトンボなど、たくさんの水生生物を見つけました。その中には、きれいな水質環境を好む水生生物もいました。実際に調査を行ったことで、鏡川がきれいな川であるということがよくわかりました！



今回の調査では、カジカガエルが見つかりました。カジカガエルは、きれいな川に生息し、「フィフィフィ」というきれいな鳴き声の特徴で、「清流の歌姫」と称されています！鏡川を訪れる際には、カジカガエルの鳴き声に耳をすませてみてください！



授業の後半には、捕まえた生きものを並べ、観察会を行いました。大きさがわかる観察用ケースに入れたり、水生生物の名前を教えてもらったりと、学びのある観察会となりました！

観察会後は、「ばいばい！」「元気でね！」と言いながら、捕まえた水生生物を鏡川に帰しました^^
生きものを大切にしている気持ちを、今後も持ち続けていきましょう！



鏡川環境保全に関する講義の際に、「鏡川を守るために、私たちができることはありますか？」という質問をしたところ、児童の皆さんは「ごみを捨てない」、「鏡川に棲んでいる生きものを捕りすぎない」など、様々な意見を発表してくれました^^
今後も、鏡川の美しい水や景色、生息するたくさんの水生生物を守るように、自分ができることを考えていきましょう！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつながる山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android